長八の宿

つげ義春

西伊豆の松崎に「長八の宿」という
一風変つた宿があったので
泊ってみた

長八の宿
海風荘

やあ仲々こった造りではないか

先代、先々代は松崎港の大網元だったのですよ

左官屋さんなら当家以外の旧家にも作品を残していることになるだろうね
でも当家のほうが一番立派ですよ

それにしてもこんな漆喰がいままでよく壊れなかったものだね

そりゃあなたこのごろの安普請とはわけが違いますよ

さあお風呂に入って下さいまし……トヨちゃん案内してあげて
ハイ

いまのおばさん女中頭ですか
お金さんと申します

おっと

失礼しました

こういう場合の調子のつけ方はどうするのかな……
パチン
べっぴんやなァ……
と言うのかな
マリちゃんのことだっぺ
ガバッ
おじさんだれ？
わし当荘の下男でジッさんてもんだ
わし今日も港で汽船を出迎えたがの
あんさん見かけなかったの
沼津まわりじゃないのけ
ボクはゆうべ湯ケ島に泊ったのでそこからバスで来たのです
ふうん湯ケ島といや おめ「伊豆の踊子」じゃねえか
おじさん仲々学があるんだね

あに
わしは字は
読めねえ
が
伊豆じゃ
長八に次い
で有名だか
らの

おめ
ハイライト
吸うか
あり
がとう

「踊り子」の
話はマリちゃん
に聞いたの
だろう
マリちゃんは
東京の
大学を
出ている
だぞ
……
小説の勉強
してきたぐれえ
だからの

すると
文科を出た
のかな
当荘の
パンフレット
だって作った
ぐれえだ

ジッちゃん
お客様に
失礼よ
ひ！

悪くない
なァ
……
美女
あり
温泉
あり
……
か

こうなると
富士山
にも
いちまい
加わって
もらわな
くては
トン

ところで
ジッさん
ひ！

ここからだと富士山はだいたいどのへんの位置に見えるのかね

どのへんもあにもおめ

真正面に…

デーンさ

今日は雲をかむっているけどヨそこから見る富士はまんで銭湯に入っているような気分になるぜ

いやだね銭湯のペンキ絵みたいなのは
おら銭湯が一番好きだな

毎日温泉に入っているけど十日に一ぺんは銭湯に行かしてもらってるだヨ
マリちゃんがおかみさんに頼んでくれただヨ

ジッちゃん
ひ！

お客様にあまり無駄口きいてはだめじゃないの
わしなにも喋らんぜ

マリちゃんが東京のクニオさんに毎日手紙書いていることなんか喋らんぜ
えッ！

いやだアどうしてそんなこと喋べるのよ

ジッちゃんの馬鹿！出しゃ張り！おたんこなす

わしなにも喋らんと言うとるじゃないか

ああいいお湯だった

やあジッさん縁側で御飯食べているぞ

カリカリカリカリカリ
モシャモシャ
モリモリ
パクパク
ごちそさま
チャッ
やあものすごいスピードだな
ジッさんの得意ワザなんですよ
不思議なワザがあるものだね
なにもあんなにあわてて食べることないのにね
下男の習性でしょうね
なるほど
ところでマリちゃんの作ったパンフレット一枚ほしいね
あらジッさんにきいたのですか

あれは現在使用禁止なのです
禁止？

マリちゃんがこの「長八の宿」を広く皆様に親しんで頂くよう苦心して作ったのですけど
ジッさんがやたらとばらまいてしまったのです

けっこうじゃないか宣伝のためなら
ところがこの松崎は熱海や伊東のような観光地ではないのであまりハデな宣伝をすると

ほかの同業者がやかましく言いたてるのです
たいしてハデとは思えないがね

いいえ目立ち過ぎたのですジッさんは毎日港に入る汽船の乗客に一枚々々配ってまわったのです

なるほどそれで当荘としては自粛せざるをえなくなったのか
ハイ

ですからたくさんのパンフレットがこの倉の階下にねむっているのです
しかし一枚ぐらい手に入るだろう？

それは困ります私恥かしいのです
？

あのパンフレットにはこのお部屋やお風呂場が写真で載っているのです
それがどうして恥かしいのですか?

そのお風呂に私が入っているのです
……

私写真を撮られるとき必死になってコバんだのですけど旦那様や奥様に頼まれてついに……
しかし無人の風呂場を写したって絵にならないからね

どこの温泉のパンフレットだってきまって岩風呂に女性が入っているものだよ
私禁止になってホッとしているのです

しかしウームおしいなァ……ますます見たくなっちゃうなァ
私困りますわ

失礼しました
残念だなァ

でも一枚ぐらいならジッさんが持っているかもしれません……

やあジッさんは倉の中に住んでいるのか
朝っぱらからわしを訪ねるのはあんさんじゃないか

驚いたねジッさんは先々代からこの家にいたんだってね
そうさ

わし十六のときまで千葉の鴨川で漁師やっていただよ
へーえ

ところがわしらが乗った船が嵐に遭っての……この松崎に流されて来たのだヨ
すごいね

いたんだ船をなおすべえと陸あげしているときにの

いきなりワイヤーが切れただよ

わし
船の下敷
になって
アバラを
六本折って
の

おまけに
ビッコになって
しまったので
もはや漁師
はつとまらねえ
仲間はわしを
残して千葉へ
帰ってしまった
だ

わし心細くて
涙がポロポロ
出たんだぜ
可哀
相に
ね

そのとき
網元だった
先々代に
ひろわれた
のさ
渡る世間
に鬼は
なし…
……

そうさ
わしは旦那の
恩に報いるため
にもこの伊豆で
骨を埋める
決心をした
のさ……
それが
おめ
義理って
もんだっぺ
そうは思わ
ないのか
先代もわしを
可愛がって
くれたがお嬢
さんを一人
残して戦死
してしまった
その
お嬢さんと
いうのが
……
現在の
おかみさん
さ
すると
現在の
旦那は
婿殿
だね
頭の良い
婿殿での
戦後つぶれ
かかった
当家を旅館
業にきり
かえて もり
かえしただよ
ふーん
大長篇ドラマ
じゃないか
それに
しても
ジッさんの
奥さんは登場
してこないね
当家の
メシたき
女をして
いたのだが
いまじゃ
これさ
子供を
生まない
うちに
死んでしま
っての……
なる
ほど
ね
ところで
……
当荘の
パンフレット
は使用
禁止だ
そうだね
わし
内密
だけど
一枚持っ
ているぜ

カラー刷り
だね
立派な
ものじゃ
ないか
そうさ
マリちゃんが
苦心して
考えた
ものだぜ

やあ
これが
お風呂場
だね

こちらが
トヨちゃん
後を向いて
いるのが
お金さん

これは
写真屋さんが
撮したもの
だけどの……
お金さんが
恥かしがって
大さわぎ
だった

おかしいね
恥かしがった
のは
トヨちゃん
ではなかっ
たの？
トヨちゃん
は若い
からまるで
平気さ

お金さんの
話に
よると
トヨちゃん
は
エッチなん
だってさ

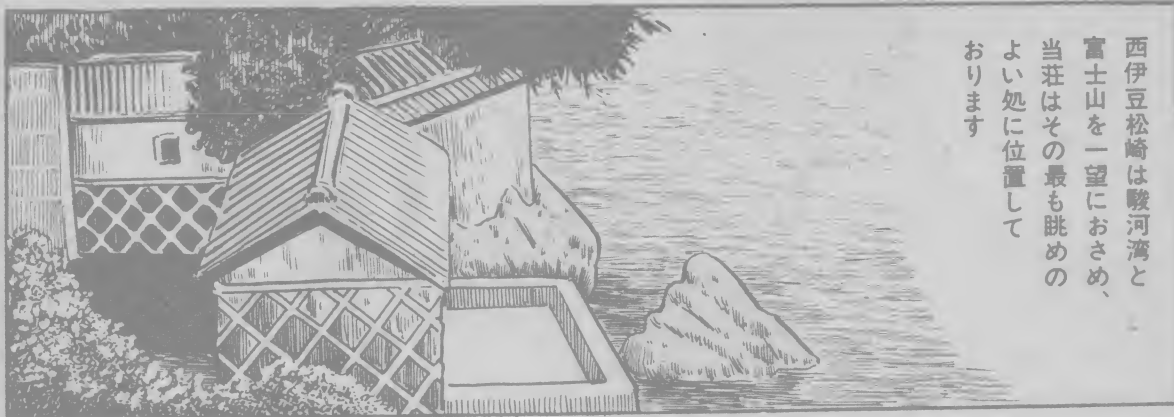
エッチとは
どういう
意味なん
だろう？

そんな
ことよりも
マリちゃんの
名文を
読んで
みなせ

わし
聞いている
から声
出して
たのむ
まず
……

西伊豆の
観光
御案内
……

鄙びた漁村や岬や島や白砂が変化に
富んだ魅惑的な景色を
次々と展開し、

路傍に磯の岩かげに
山の段々畑に可憐な四季の
花々が咲き乱れて、静かに、やさしく
旅人に話しかけてくれます

当荘の特色は《伊豆の旧家》の建築
様式をそのまま生かし、重厚な
落ついたたたずまいを主体として
〈ふるさとに帰ったような静かに休める宿〉
にと考えております

わし
おとなし
く聞いて
いるがな

えーと
……
入江長八は
文化12年
松崎町の明地
に生まれました
……

十二歳より鏝工を志し、十九歳の時江戸に
出て狩野派の絵を学び、壁、柱の装飾に
妙技を振い、名声をあげました
その代表的作品を
保存する記念館も
近くにございます

なお、当荘にも
長八の漆喰細工
や鏝絵の
数々をロビーに
陳列致して
ござい
ます

ふーん
なるほど
ね

仲々よく
できている
では
ないか
そうだ
ろう
たいした
ものさ

だけど
これはあげる
わけには
ゆかないヨ
一枚しか
ねえ
ものだ
からな

本当は
この中に
たくさんあるの
だが鍵がかか
っているからのう
残念
だね
こわれ物

ジッ
ちゃん

しッ!

ねえ郵便局へ
行って来て
また
クニオさんに
手紙出す
のけ

違うわよ
お友達に
出すのよ
へへへへ
わし字が
読めないと
思っているだ
ろうけれど
たびたびだから
おぼえて
しまったわい

ほら
クニオって
字じゃ
ないか
違う
わヨ

違い
ます!
へへへ
ちゃんと
知ってる
よ

おや
そこにいる
のは
ジッさんじゃ
ないか
どうした
のです？
わし
海を
見ていた
だよ
おめ　もう
帰るのか
ええ
バスで
下田へ
まわる
つもり
です
また
こいよな
お世話
に
なり
ました
ジッちゃて
ひ！
駄目じゃ
ないの
またパンフレット
持ち出した
わね
わし
なにも
しらんぜ
かくした
ってだめ！
お金さんが
ちゃんと
見てた
んだ
から

ほら
こんな
に

町の人に
見られ
たら
困るじゃ
ないの
ビビ
リリ

ポイ

はははは
ジッさん
ひどく叱ら
れたね
だけど
なにも
あんなに
ポンポン
おこらな
くても
いいのにね

この頃
東京のクニオ
さんから
手紙が
こねえから
ヒスおこ
している
だよ
へえ
マリちゃん
恋愛
している
の？

それに
しても
あのパンフレット
おしいことを
したね

おめ
そんなに
ほしいと
思うか

ちょっく
ら
こっちへ
こ

わしちゃんと
おめの分
……
ほら
二枚
ジッさん
本当は
鍵の
あけ方
知っていた
のだね

それでは
トヨちゃんに
頼まれた
分もある
だろう

もう
二、三枚
おめ
何気
ない顔
してる
けどコスイな

ぼくは東京へ
帰ったらこれで
うんと
宣伝して
やるよ
「長八の宿」は
有名に
なる
じゃろ
か

じゃあ
ね…

や……

おーい
ジッさん

おーい
なん
だよ～
う

ふじさん
だよ～
う

完